

# 第1章 2020（令和2）年度の主な取組

2020（令和2）年度に行った環境保全施策の中で、特に力を入れた取組などを報告します。

## 1 地球温暖化対策を推進する

地球温暖化は地球規模の問題ですが、一人ひとりが日常生活の中で環境にやさしい行動を実践していくことが重要です。

### ●住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成

本事業は、環境負荷の少ないエネルギー利用を促進し、地球温暖化対策の推進を目的として行っています。二酸化炭素の排出量の削減に貢献する新エネルギー<sup>※1</sup>設備や省エネルギー設備を設置する区民を対象に、設置経費の一部を助成しました。

＜2020（令和2）年度実績＞ ( )：2019（令和元）年度実績

助成対象設備	助成額	助成額の上限	申請件数	助成件数
太陽光発電システム	本体価格の 3分の1	10万円 <sup>※2</sup>	34件 (23件)	33件 (22件)
家庭用燃料電池システム		5万円	28件 (37件)	28件 (37件)
家庭用蓄電システム		5万円	43件 (43件)	40件 (43件)
CO <sub>2</sub> 冷媒ヒートポンプ給湯器		3万2千円	10件 (5件)	10件 (5件)
HEMS（家庭用エネルギー管理システム）		2万円	15件 (10件)	14件 (10件)
マンション共用部LED照明		10万円	8件 (11件)	8件 (11件)
エコ住宅（東京ゼロエミ住宅及びネット・ゼロ・エネルギー・ハウス <sup>※3</sup> ）		30万円	3件 (1件)	3件 (1件)

※1 新エネルギー：太陽光発電、風力発電などの自然エネルギーや廃棄物による発電など、石油代替エネルギーとなるもの。助成対象設備では、太陽光発電システム又は家庭用燃料電池システムを指します。

※2 太陽光発電システムの申請に加えて、その他の助成対象設備を申請する場合に、その数に応じて1万円ずつ加算。

※3 住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電などによってエネルギーを創り、年間に消費する正味（ネット）のエネルギー量が概ねゼロとなる住宅のこと。

### ●地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策のために、一人一人が実践することができる省エネ・省資源の取組を区報や区ホームページで紹介する等の普及啓発を行いました。（普及啓発の詳細は第2章に掲載）

また、地球温暖化対策

への区の率先行動として、区職員を対象に研修を実施するとともに、区の業務により排出する二酸化炭素排出量の削減に取り組みました。

（区の実績については第4章に掲載）

＜東京都多摩産材の間伐材で  
作成した鉛筆・定規＞



## 2 ものを大切にしながら循環型社会を実現する

2015（平成27）年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」（SDGs）において食品廃棄物（食品ロス）の削減や海洋汚染の防止などが掲げられ、食品ロス削減や使い捨てプラスチック削減について世界的に関心が高まっています。

区ではこのような課題について普及啓発を図るとともに、区内の障害者就労支援施設や店舗と連携して2R（リデュース・リユース）を推進しました。

### ●使い捨てプラスチック削減

プラスチックの過度な使用や不適切な廃棄は、海洋プラスチックごみ問題や地球温暖化など環境に悪影響を与えることとなります。2020（令和2）年7月からレジ袋が有料化となり、使い捨て型のライフスタイルを見直す契機として、区内の障害者就労支援施設と連携し、オリジナルエコバック「めぐろはんどめいどエコバッグ」を作製しました。

また、区も一事業者として、使い捨てプラスチックの削減に向けた取組を示し行動するため、「目黒区使い捨てプラスチック削減方針」を策定しました。

環境省が世界的な海洋プラスチック問題の解決に向けて取り組んでいる「プラスチック・スマート」キャンペーンにも参加しています。



<めぐろはんどめいどエコバッグ>



<環境省キャンペーンのロゴ>

### ●食べきり協力店

リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再利用）、食品ロス削減のための5つのルール「めぐろ買い物ルール」の取組を推進する店舗などを「めぐろ買い物ルール参加店」とし、そのうち食品ロス削減に取り組んでいる店舗などを「食べきり協力店」として登録する制度を2019（令和元）年10月から開始し、食品ロス削減対策の強化を図っています。

2021（令和3）年3月末現在、食べきり協力店は78店舗となりました。



<食べきり協力店 MAP>  
<食べきり協力店一覧の二次元コード>



<食べきり協力店ステッカー>

### 3 みどりははぐくみエコロジカルネットワークを形成する

みどりは、ヒートアイランド現象の緩和、都市景観の向上、生物多様性の確保、都市防災への寄与などとともに、人々にうるおいと安らぎをあたえるなど、多様な効用をあわせもっています。目黒のサクラ再生計画の取組として、駒場野公園と九品仏川緑道のサクラ再生実行計画を作成しました。また、生物多様性に関する取組として、毎年目黒川等で住民参加型の自然環境調査「いきもの発見隊」を開催していましたが2020（令和2）年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりました。みどりやいきもの大切さの普及・啓発を進めています。

#### ●目黒のサクラ再生計画の取組

2015（平成27）年度から実施している街路樹や公園、緑道などの樹木診断の結果に基づき、駒場野公園と九品仏川緑道について、保全方法や植替え方針について検討を行い、サクラ再生実行計画の作成に取り組みました。

計画の作成に当たっては、地域の皆さんの意見を取り入れるため、現地調査会の開催やニュースレターの配布を行いました。

基本的な方針として、樹勢が健全な桜についてはそのまま保全育成し、倒木の危険や枯損を生じた桜については、計画に従い順次植替えを行っていきます。



＜駒場野公園の植替えイメージ＞  
コヒガンの桜並木を保全するエリア



＜九品仏川緑道の植替えイメージ＞  
コヒガン、コシノヒガン等により植え替えるエリア

#### ●「目黒川の生物調査」の実施

区民参加により区内の身近ないきものの生息状況を調べるとともに、専門の先生の講義により自然や生物多様性の大切さについて学ぶイベント「いきもの発見隊」を毎年開催していましたが、2020（令和2）年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止し、目黒川船入場で区職員研修により「目黒川の生物調査」を実施しました。目黒川船入場では、ミシシippアカミミガメやクロベンケイガニなどの川のいきものを7種見つけました。



＜目黒川で魚を探す区職員＞

## 4 健康で快適に暮らせる生活環境を確保する

住み心地のよいまちであり続けるためには、歩きたばこや吸殻等のポイ捨てなどを防止するためのモラルやマナーを一人ひとりが守っていくことが重要です。区では、「目黒区ポイ捨てなどのないまちをみんなで作る条例」を定め、区、区民、事業者などが、それぞれ主体的に協働してまちの環境美化に取り組んでいます。

### ●屋外型公衆喫煙所の廃止と中目黒駅東側公衆喫煙所の整備

受動喫煙防止を図るため、東京都の補助金を活用した「屋内型喫煙施設整備費補助事業」を2019（令和元）年度から実施し、これまでに、4駅周辺の民間事業者が管理する6施設に屋内型喫煙施設を整備し、公衆喫煙所として運用を開始しました。これにより、以前から煙や臭い、受動喫煙に対する苦情が寄せられていた中目黒駅（2箇所）と都立大学駅（1箇所）に整備していた屋外型の公衆喫煙所を廃止しました。

2020（令和2）年度は、目黒区が事業主体となり、中目黒駅東側（旧中目黒アリーナ横公衆喫煙所跡地）に屋内型（コンテナ型）公衆喫煙所を整備しました。



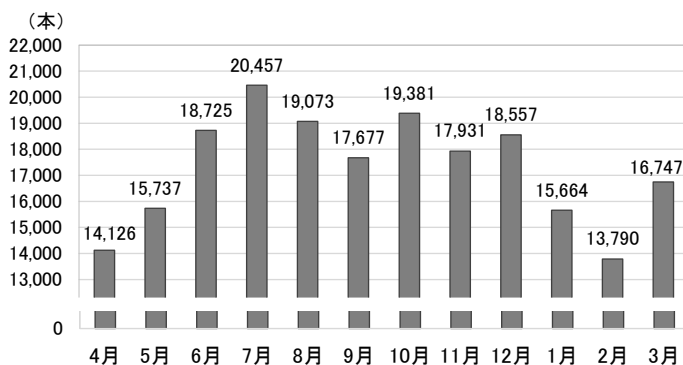
<喫煙所外観>



<喫煙所内の空気清浄機>

### ●路上喫煙禁止啓発パトロールの実施

路上喫煙対策及びポイ捨ての抑止として、路上喫煙禁止区域である中目黒駅、自由が丘駅、学芸大学駅及び都立大学駅周辺などのパトロールを行い、路上喫煙禁止区域内であれば、路上喫煙者（喫煙所以外での立ち止まった喫煙を含む。）に対して、禁止区域があることを伝え、喫煙をやめるよう指導しました。加えて、路上喫煙禁止区域内外を問わず、啓発活動及びたばこの吸殻の回収を行いました。ポイ捨てをした者には、条例上の禁止行為であることを伝え、ポイ捨てをしないように指導するなど、路上美化推進のための取組を強化しました。



<路上喫煙禁止啓発パトロールにおける、たばこの吸殻の回収本数>



<啓発パトロール風景>

## 5 環境を守りはぐくむ人を育てる

地球規模で起こっている環境問題は、日常生活と深く関わっています。環境保全に取り組む人を育てるため、環境推進員養成講座を毎年開催していましたが、2020（令和2）年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。また区ホームページでの環境に関する情報の発信や、「めぐろグリーンアクションプログラム」の推進などを行いました。

### ● 環境推進員養成講座

この講座は、環境推進員養成講座の修了生が、企画委員となって企画運営を行っています。

修了後は、「めぐろエコサポーター制度」へ登録することができ、講座の企画や会報の作成、ボランティア活動、自主グループへの参加など、実践の場が用意されています。これらの環境保全に関する活動を1年間実践し、報告することで、「環境推進員」として登録されます。

2020（令和2）年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため開催は中止しましたが、2008（平成20）年度から2019（令和元）年度までに12期の講座を開催しました。



<企画委員会の様子>



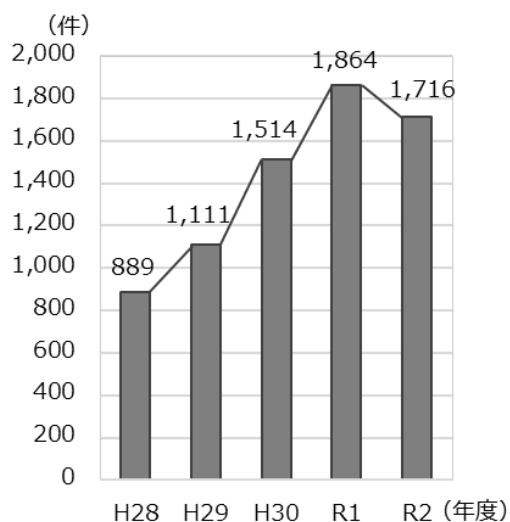
<こまばリボンクラブ・生ごみ堆肥作りの見学>

### ● 区ホームページでの環境情報の発信

区では、区ホームページなどを通して、環境関連情報を集積・発信する仕組みをつくり、情報提供を行っています。

「目黒区環境基本計画」を2017（平成29）年3月に改定した後、区ホームページ（もっと知りたい環境のこと）へのアクセス数は増加傾向にあります。今後も環境保全に関わる人を育てるとともに、環境配慮行動を推進するため、区ホームページに新たなコンテンツを作成するなど、環境に関連する情報の普及啓発や情報提供に、積極的に取り組みます。

なお、2020（令和2）年度のアクセス件数は、2019（令和元）年度より148件減少し、1,716件でした。



<区ホームページ「もっと知りたい環境のこと」アクセス数>